

科目名 (科目番号)	人体の構造 (時間割参照)	教員名	澤田和彦	学科等	看護	必修	履修年次	1
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
				授業形態	演習	オフィスアワー	火4・D306研究室(澤田)	
授業概要	人体の正常構造の理解のため、人体を構成する各器官の微細構造、肉眼解剖的構造、身体における有機的なつながりを系統立てて解説する。細胞や組織など人体の構成単位と人体の初期発生について学習した後、動物性器官として神経系、感覚器系、筋骨格系について、植物性器官として循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、免疫系、生殖器系、内分泌系について学び、看護師として必要な解剖学の基礎知識を身に付ける。							
目的・目標	目的: 看護師を志す学生として、様々な疾患の診断、評価、治療法を理解するうえで必要な基礎的な人体の構造の知識を習得する。 目標: ①人体ついて、器官の系統別にその構造を理解する。 ②各器官系の構造上のつながりを理解することで、人体の機能について理解を深める。							
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	解剖学総論	到達目標:解剖学の基礎的知識および運動を表す用語を習得する。 学習内容:人体の階層性と器官の系統、体の区分、解剖学的平面、方向や運動を表す用語。					
	2	組織学	到達目標:組織学の基礎を説明できる。 学習内容:器官を構成する組織の分類と各組織の基本構造。					
	3	発生学	到達目標:ヒトの初期発生について説明できる。 学習内容:ヒトにおける胚子の発生と胚葉の分化。					
	4	骨格系①	到達目標:骨、関節の基本構造を説明できる。 学習内容:骨の性状、発生・成長、基本構造。					
	5	骨格系②	到達目標:人体の主な骨と関節の構造、位置、作用を説明できる。 学習内容:全身の骨および主な関節の構成、構造、作用。					
	6	筋系	到達目標:骨格筋の基本構造、全身の主な筋の名称と位置、作用を説明できる。 学習内容:骨格筋の基本構造、人体各部の主な筋の構造、働き、支配神経。					
	7	骨学実習	到達目標:人体における骨や関節の構成、形状について骨格標本を用いて説明できる。 実習内容:人体の骨格標本の観察。					
	8							
	9	末梢神経系	到達目標:末梢神経の分類と構成について機能と関連付けて説明できる。 学習内容:脊髄神経、脳神経の各末梢枝の走行・分布・機能の概略。					
	10	演習①	到達目標:解剖学総論、組織学、発生学について理解を深める。 学習内容:解剖学総論、組織学、発生学についての演習問題を行う。					
	11	中枢神経系①	到達目標:中枢神経系の構成と各部の構造の詳細wo機能と関連付けて説明できる。 学習内容:脳および脊髄の構造と機能、および髄膜の構成と構造。					
	12	演習②	到達目標:骨格系と筋系について理解を深める。 学習内容:骨格系と筋系についての演習問題を行う。					
	13	中枢神経系②	到達目標:中枢神経系の伝導路を説明できる。 学習内容:錐体路、後索－内側毛帯路、脊髄視床路、脊髄小脳路、特殊感覚伝導路。					
	14	感覚器系	到達目標:感覚器系各器官の構造を機能と関連付けて説明できる。 学習内容:皮膚、眼球、耳(外耳、中耳、内耳)、鼻の構造の詳細。					
	15	局所解剖	到達目標:胸腹部器官の局所解剖的位置関係と胸膜・腹膜との関係を説明できる。 学習内容:椎骨の高さを基準とした主な胸腹部内臓の位置。人体の漿膜。					
	16	演習③	到達目標:末梢神経系と中枢神経系について理解を深める。 学習内容:末梢神経系と中枢神経系についての演習問題を行う。					
	17	小動物の解剖	到達目標:胸腹部内臓の臓器の原位置、構造、有機的な繋がりについて系統立てて説明できる。実習内容:小動物(マウス)を解剖し、胸腹部内臓を肉眼解剖的に観察。					
	18							
	19	呼吸器系	到達目標:呼吸器系の構成と構造について機能と関連付けて説明できる。 学習内容:上気道および下気道の構造の詳細。					
20	演習④	到達目標:感覚器系、局所解剖、呼吸器系について理解を深める。 学習内容:感覚器系、局所解剖、呼吸器系についての演習問題を行う。						

授業計画	21	消化器系	到達目標:消化器系機関の構成と構造、有機的繋がりについて説明できる。 学習内容:消化管および消化付属器官の構造の詳細。
	22	内分泌系	到達目標:内分泌系各器官の構造を機能と関連付けて説明できる。 学習内容:主な内分泌器官の構造の詳細と分泌されるホルモン。
	23	生殖器系	到達目標:男性の内・外生殖器の構成と構造について機能と関連付けて説明できる。 学習内容:男性生殖器の構造の詳細および機能の概略、
	24	演習⑤	到達目標:消化器系と内分泌系について理解を深める。 学習内容:消化器系と内分泌系についての演習問題を行う。
	25	泌尿器系	到達目標:泌尿器系各器官の構造について機能と関連付けて説明できる。 学習内容:腎臓および排泄路(尿管、膀胱、尿道)の構造の詳細。
	26	演習⑥	到達目標:生殖器系と泌尿器系について理解を深める。 学習内容:生殖器系と泌尿器系についての演習問題を行う。
	27	循環器系①	到達目標:心臓の構造の詳細、栄養血管について説明できる。 学習内容:心臓の各部屋と弁の構造、冠状動静脈の分布と支配域、刺激伝導系。
	28	循環器系②	到達目標:末梢循環系の構成と分布について説明できる。 学習内容:肺循環、体循環、リンパ循環。
	29	免疫系	到達目標:免疫系各器官の構成と構造、末梢循環系との関連について述べることができる。 学習内容:主な免疫系器官および組織の構造。
	30	演習⑦	到達目標:循環器系と免疫系について理解を深める。 学習内容:循環器系と免疫系についての演習問題を行う。
成績評価の方法・基準	対面時:期末試験(60%)＋演習・実習(40%) オンライン時:授業内課題(50%)＋期末試験(50%)		
教科書	コメディカル専門基礎科目シリーズ 解剖学	澤田和彦、坂田ひろみ 編	理工図書
参考図書			
教員からのメッセージ	授業の進度、その他必要性に応じて内容を変更することがあります。 予習復習は、指定の教科書を参考に、事前に配布した授業資料を用いて行うこと。 昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。		